

最新医療機器更新、幅広い専門診療科にて 地域医療への貢献に務める



最新鋭のMRI磁気共鳴装置



超音波内視鏡を搭載した最新式機種を導入



左は胆振、日高地区で初めて導入されたVビームレーザー
右は太田母斑やシミなどを治療するQスイッチレーザー



理事長・院長
館山 美樹

1982年北里大学医学部卒業後、北大第3内科入局。道内主要病院勤務を経て1995年苫小牧日翔病院勤務。2005年同院副院長。2015年4月同院院長。2016年4月医療法人社団養生館理事長に就任。

1989年の開設から30年目を迎える医療法人社団養生館。中核となる苫小牧日翔病院は、実績のある専門医が集まった急性期病院として、診療体制の強化や最新の医療機器更新を続け、提供する医療の質の向上に励んでいる。2018年度には、専門医4人（外科、透析、麻酔科）を増員し、診療体制の強化を図っている。

また、同法人の青葉病院には、神経内科専門医が在籍し、脳や脊髄、筋肉などの神経症状、ALSなどの神経難病にも対応している。

医療機器も充実しており、最新式1.5テスラMRIや、64列マルチスライスCT、血管造影装置、マンモグラフィ、超音波内視鏡とレーザー光源を搭載した内視鏡システム、赤あざ（単純性血管腫、母状血管腫）治療用レーザーなど、最先端医療機器の更新に余念がない。

さらに、大学との医師の交流も盛んで、連日北海道大学などから非常勤医師の派遣を受け、常勤医と共に医療水準の向上に努めている。

18年度、形成外科では福島県立医科大学小山明彦教授による『顔面形成外来』を開設。外傷や変形を組織の移植などの手術で改善させることを目的に、より専門的な治療が可能となった。

整形外科では我汝会えにわ病院脊椎専門医による脊椎外来を週2回に増やし、より充実した診療体制を整えた。患者数3000人規模を誇る透析センターでは、透析センター常勤専門医を増員し、医師5人体制にて透析専門治療の向上を目指す。

館山美樹理事長は「人材の強化と、最先端の医療機器の更新を図り続けることで、都市部との格差をなくし、この地域で全国標準プラスアルファの医療を受けられるよう努めていきたい」と話す。

医療法人社団養生館 **苫小牧日翔病院**

☎(0144)72-7000

苫小牧市矢代町2丁目9番13号

←ホームページはこちらから



外科・内科・消化器内科・循環器内科・腫瘍内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・形成外科・リウマチ科・リハビリテーション科・麻酔科・透析センター

受付時間／
月～金曜 / 8:30～16:30
土曜 / 8:30～11:30

※24時間救急対応可能
診察時間や担当医は当日変更になる場合がございます。詳細は当日お電話(0144)72-7000にてお気軽にお問い合わせください。

休診日 / 日・祝日・年末年始
8/1(開院記念日)・8/16(お盆休み)

